

四国森林管理局入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成27年1月15日)

開催日及び場所			平成２６年１２月１２日（金曜日）四国森林管理局　１階会議室			
委　　　員			坂本　伸廣　（税理士） 斎藤　　章　（公認会計士） 西森やよい　（弁護士）			
審議対象期間			平成２６年　７月　１日～平成２６年　９月３０日			
審議対象案件			９５件　うち、１者応札案件　２９件 契約の相手方が公益社団法人等の案件　０件			
抽　出　案　件			２８件（抽出率２９％）うち、１者応札案件　４件 （抽出率１４％） 契約の相手方が公益社団法人等の案件　０件 （抽出率　０％）			
抽 出 案 件 内 訳	工事	一般競争		６件　　うち、１者応札案件　２件		
		指名競争	公募型指名競争		該当なし	
			工事希望型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約		１件		
	業務	一般競争		４件　　うち、１者応札案件　０件		
		指名競争	公　募　型　競　争		該当なし	
			簡易公募型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約	公　募　型　プ　ロ　ポ　ー　ザ　ル		該当なし	
			簡易公募型プロポーザル		該当なし	
			標　準　型　プ　ロ　ポ　ー　ザ　ル		該当なし	
			そ　の　他　の　随　意　契　約		２件	
	物品・役務等	一般競争		１０件　　うち、１者応札案件　２件		
		指名競争		該当なし		
		随意契約（企画競争・公募）		３件		
		随意契約（その他）		２件		
	（特記事項）なし					

	意見・質問	回答等
委員らの意見・質問それに対する回答等	・ 今回、治山工事と素材生産事業で低入札調査の対象となったものがあるが、これは落札率が何%以下だった場合に行うのか。 また、調査はどのように行うのか。 ・ 設計業務で緊急随契を行っているが、どのようにして契約相手方を決定するのか。 ・ 産物委託販売契約（企画競争）が2件あり両方とも提案者数が11となっているが、同一の契約に対し11の提案があったのか。 ・ 再度入札における1位不動状況で1位不動の割合が100%になっているが、これについて調査を行うことはないのか。 ・ 事業者アンケートの結果を事業者にフィードバックする方法を検討するよう要望していたが、どのようにするのか。 ・ 事業者から設計書をホームページから取得できるようにしてほしいとの要望に対して検討するとしていたが、検討結果はどうなったか。	・ 調査対象となるのは、予定価格が1,000万円を超えるもので、工事は落札率が86%程度、素材生産は60%を下回るものについて行っている。 調査は提出された書類をもとに入札者への聞き取り、関係機関への問い合わせ等により行っている。 ・ 通常の入札は公告から入札まで40日程度の期間が必要となるため、災害により緊急を要する設計業務を行う場合は、前年度末に予め選定し登録しておいた業者（局内で4業者）から見積もりを徴収し、その中で一番安価なところと契約を行うこととしている。 ・ 製品の販売委託については、年度当初に企画競争の公募を行い、局全体で11の市場を選択している。各森林管理署は、その中から最も有利に製品を販売できる市場を選択し契約を行っているため、1つの契約に11の提案があったというわけではない。 ・ 1位不動の状況のみで談合等の有無を判断することは難しく、具体的な調査は行っていないが、今後も落札率等の状況と合わせて注視していく。 ・ アンケート結果については「平成25年度林野庁直轄事業の発注業務に関するアンケート調査結果」として林野庁のホームページに掲載されている。 ・ 工事内容によっては、図面の枚数が多いものもあり、データ容量の関係から全ての工事について掲載することは難しいが、図面の枚数が比較的少ない工事から、平成27年4月以降随時ホームページに掲載することとしている。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]		特になし